

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 681 号

2018年3月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

2018年アルミニウム缶需要 218億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会（富永泰夫理事長）は2月16日、2017歴年（1月～12月）の飲料用アルミニウム缶の需要見込みと、2018歴年の需要予測を発表した。

これによれば、2017歴年の需要見込みは対前年比2%減少、缶需要の伸びが一服した。主力のビール向けが対前年比2%減少して対前年比のマイナスが13年の連続となり、減少の傾向が続いた。

ビールの減少と反対に、低アルコール飲料向けは10%の増量で需要の伸びが目立つ。全体で2%減少。

2018歴年の国産缶の出荷量は、213億2千万缶と前年より横這いを見込んだ。RTD（レディ・トゥ・ドリンク）と呼ばれる栓をあけてそのまま飲める

チューハイやカクテル、ハイボールなど低アルコール飲料向けは7%増と好調を予測した。

一方、これまで需要を支えてきたビール向けは厳しい状況が変わらない。少子高齢化や若者のビール離れで前年同様2%減を予測した。

過去10年間のアルミニウム缶需要は下記の通りで順調な増加を続けている。（単位・億缶）

・2007年	185.2	・2012年	191.3
・2008年	184.3	・2013年	194.5
・2009年	182.4	・2014年	201.4
・2010年	185.8	・2015年	222.0
・2011年	188.0	・2016年	223.8

日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

歴 年		2016年実績	2017年実績見込み	2018年予測	
A 国産缶 出荷量	ビール（発泡酒・新分野含む）	98.0（98.0）	95.7（98.0）	93.8（98.0）	
	ビール 以外の 飲 料	その他のアルコール	32.2（112.0）	35.4（110.0）	37.8（107.0）
		非アルコール	86.2（101.0）	82.5（96.0）	81.6（99.0）
	ビール以外の飲料計		118.4（104.0）	117.8（99.0）	119.4（101.0）
	小 計		216.4（101.0）	213.6（99.0）	213.2（100.0）
	（うちボトル缶数量）		29.5（115.0）	29.5（100.0）	30.4（103.0）
B	空 缶 輸 入 量	0.5（100.0）	0.5（100.0）	0.5（100.0）	
C	実 缶 輸 入 量	7.5（94.0）	6.8（91.0）	6.0（88.0）	
D	実 缶 輸 出 量	0.6（100.0）	1.6（268.0）	1.7（106.0）	
E	国内需要量計（A+B+C-D）	223.8（101.0）	219.3（98.0）	218.0（99.0）	

2017年生産

アルミ鋳物・ダイカストともに増加

経済産業省がこのほど発表した2017暦年（1月～12月）の生産動態統計による生産量は、

- ・アルミニウム鋳物 441,815トン
- ・アルミニウム・ダイカスト 1,018,812トン

で、アルミニウム鋳物の生産量は前年比4.3パーセントの増加、アルミニウム・ダイカストの生産量は前年比6.4パーセントの増加となった。

アルミニウム鋳物は4年連続して前年実績を超え、ダイカストは2年連続して前年を上回った。また、ダイカストの生産量が100万トンを上回るのは2008年以来9年ぶりとなる。

アルミニウム鋳物

主力の輸送機械（自動車とその他）が4.4パーセント増で4年連続のプラス。内訳は自動車向けが4.2パーセント増の412,982トンで4年連続の増加を記録

した。国内自動車生産の増加で年初から高水準に推移した。

一般機械は3.2パーセント増で3年ぶりの増加。全ての月が前年を上回る好調ぶりを示した。公共事業や土木・建築などが含まれるその他は2年連続のプラスとなった。

アルミニウム・ダイカスト

主力の自動車が6.0%増加、2年連続のプラスとなり、2007年以来10年ぶりに90万トンに達した。2輪車は6.8パーセント増で7年ぶりにプラスを記録。

一般機械は年初から2桁プラスで7年ぶりの増加。生産が4年ぶりに3万トンを上回った。電気機械は3年ぶりのプラス。

全部門が見事にプラスを記録し得た大へん幸運の年であった。

アルミニウム鋳物・ダイカストの生産

2016年

2017年

	生産 (トン)	前年比 (%)	生産 (トン)	前年比 (%)
①アルミ鋳物	<u>423,657</u>	<u>+1.2</u>	<u>441,815</u>	<u>+4.3</u>
② 一般機械	8,039	-2.3	8,300	+3.2
③ 輸送機械	404,113	+1.3	421,918	+4.4
④ その他	11,505	+1.8	11,597	+0.8
⑤アルミ・ダイカスト	<u>957,870</u>	<u>+0.5</u>	<u>1,018,812</u>	<u>+6.4</u>
⑥ 一般機械	26,837	-5.4	31,498	+17.4
⑦ 電気機械	16,167	-9.4	16,803	+3.9
⑧ 自動車	857,714	+1.0	909,322	+6.0
⑨ 二輪車	25,861	-4.8	27,609	+6.8
⑩ その他	31,291	+1.3	33,580	+7.3

米国保護貿易主義の行方

鋼材・アルミ圧延品・自動車

このほど米国商務省は、鋼材とアルミニウム圧延品の輸入増加が国家安全保障上の脅威になっており、これに対処する輸入制限措置をトランプ大統領に提案したことを明らかにした。

この商務省の対応は、アメリカの安全保障を脅かすような製品輸入が制限できることを認めた通商拡大法に基づくという。

鋼材については、

- ①すべての国に最低24%の追加関税を課す。
- ②中国など12カ国に最低53%の関税をかけ、他の国には2017年実績と同じ輸入該当枠を設定する。
- ③すべての国に2017年実績の63%に相当する輸入該当枠を設定する。

と言う3案を提示した。これに対してトランプ大統領は4月中旬までに対応を決めるという。

アルミニウム圧延品についても、中国製品の大量輸入が同様に問題視されており、同じ対応が検討されている。

一方、自動車の対日貿易がアメリカの一方的輸入で日本向け輸出が少ないのは、日本の自動車市場がアメリカ製自動車に対し不当な差別を課している（燃費規制や排ガス規制などを指しているようである）として日本産自動車を締め出そうとするトランプ大統領の発言がある。

いずれにしろ、輸入制限措置には大へん大きな問題を含む。第1は、自由貿易を理想とする世界貿易の秩序を大きく損なう恐れがある。

WTO（世界貿易機関）が認めている輸入制限は、差し迫った紛争など例外的な事態のみで、今日のような平和な時期にアメリカが乱用すれば、高関税でアメリカに報復する国々が出る。

第2の問題は、アメリカ国内の物価への打撃である。常識を超える超高関税を課せば、すべての工業製品へ高原価の波が及び、国民生活のレベル低下が予測される。そしてこの影響はアメリカ一国の国内問題だけに留まらぬことを留意すべきである。

鳥羽の火祭り

2月11日鳥羽神明社

1200年前から伝わる鳥羽神明社（西尾市鳥羽町）の火祭りは天下の奇祭として知られ、国の重要無形文化財に指定されている。

裸体の厄男達が鳥羽海岸で体を清め、5.5米の巨大たいまつを燃えさかる中に飛び込み、神木と縄を取り出して神前に供え、その結果によって今年の天候と作物の出来具合を占うという勇壮な行事。

火祭りは2月11日に盛大に行われ、本年は1年を通じて好天に恵まれ、収穫も良好と占いが下された。

また、燃え残りの竹を箸（はし）にして食事をすれば、歯が丈夫で健康が保たれるという言い伝えから、燃え残りの竹は観衆の貴重な記念品となった。



鳥羽の火祭り

西尾桜まつり

3月24日オープン

例年4月の行事とされてきた西尾桜まつりは、年と共に桜の開花が早くなり、本年は3月の行事として行われる。

西尾城歴史公園とみどり川桜並木通りを中心に3月24日から4月8日まで多彩な行事が下記の様に催される。(写真は西尾城歴史公園)

- ・歴史公園-サクラ花市、コスプレ桜まつり
- ・みどり川-うなぎと金魚のつかみ取り
- ・本町通り-ビンゴ、お酒の試飲会



社内情報

- ◎2017歴年のアルミニウム铸件とアルミニウム・ダイカストの生産は、すべての部門とも前年を上回る快記録で、ご同慶にたえません。
- ◎原料のアルミニウム合金地金もフル生産体制で対処しています。
- ◎引き続き、2018年も好調の需要を大きく期待しております。

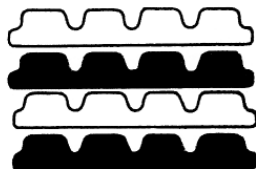
編集後記

- ☐アルミニウム缶の需要で、ビール用が引きつづき不振なことが理解できません。日本のビールは大へんおいしいと考えていますが、毎年減少の傾向が改まりません。
- ☐隣接する矢作川の堤防の新芽が美しい絶好の季節を迎えます。工場見学の予約のご相談が各方面から寄せられています。

アルミ缶リサイクルング 鑄造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鑄造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>